

# 事業者の業務範囲及び主な契約条件は以下のとおりを想定している。

## 事業者の業務範囲

### 【大型MICE施設等整備業務】

- 事業者は、大型MICE施設等の整備にあたって必要となる各種調査を実施するとともに、施設の設計及び施工実施後、施設を県に引き渡す。

### 【大型MICE施設開業準備業務】

- 事業者は、大型MICE施設の開業にあたって、広報・誘致やスタッフ研修、利用規則などの策定を行う。また、必要となる設備・物品を調達する。

### 【大型MICE施設運営維持管理業務】

- 事業者は、県より大型MICE施設について公共施設等運営権の設定を受け、大型MICE施設等の運営維持管理を行う。
- 大規模修繕は県が実施する。

### 【ホテル(必須提案)整備業務】

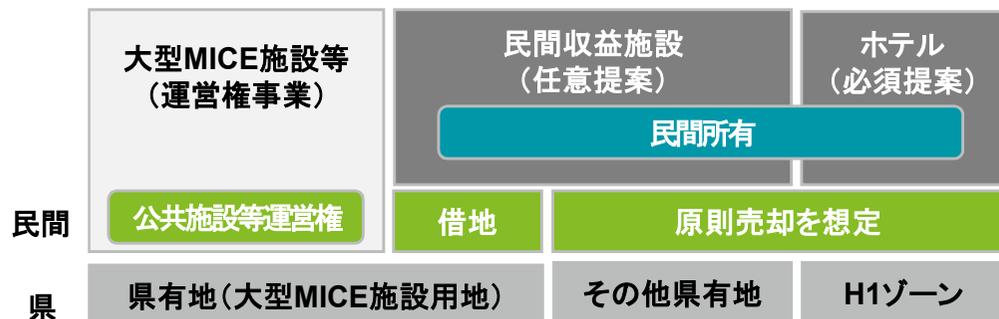
- 事業者は、県よりH1ゾーンを取得し、ホテルの整備を行う。

### 【民間収益施設(任意提案)の整備等業務】

- 事業者は、県よりその他県有地を取得し、ホテルなどを含むその他民間収益施設の整備等を提案することができる。なお、県有地のうち、大型MICE施設用地については、大型MICE施設拡張用地を確保した上で、民間収益施設の活用を提案することが出来る。

### 【エリアマネジメント業務】

- 事業者は、提案敷地を含むマリンタウンMICEエリア全体のマスタープランを関係団体等と共同で策定し、エリア全体の価値向上に資する取組を推進する。



## 主な事業条件等

### 【事業期間】

- 施設整備期間を除き、20年とする。

### 【施設の財産区分】

- 大型MICE施設は行政財産として取得する。

### 【施設整備費用の負担等】

- 大型MICE施設等の整備費用は全て県が負担する。また事業者は、県の承諾を得て、サービス向上や収益性の改善・向上に資する追加投資・改修工事を事業者の負担により実施することができる。
- ホテル(必須提案)及び民間収益施設(任意提案)の整備費用は全て事業者が負担する。

### 【運営権対価、土地購入額の設定】

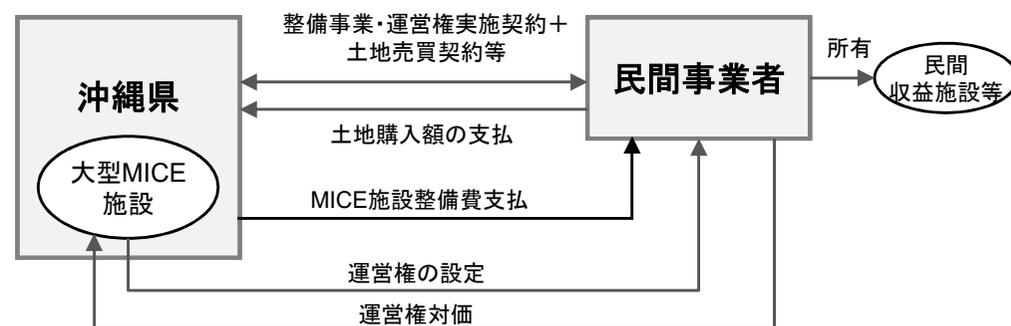
- 運営権対価は、事業者の提案によるものとする。
- ホテル及び民間収益施設は、県による不動産鑑定評価等による土地購入額の条件を基本に、事業者の提案によるものとする。

### 【需要リスクの考え方】

- 需要変動リスクは、原則として事業者が負担することを基本とするが、需要激変時等の対応について検討する。

### 【県内事業者の参画】

- 県内に本社を有する企業(以下、「県内企業」とする。)の事業参画機会創出のため、県内企業の事業参画状況を適切に評価していく方針とする。



## IV. 事業の効果



# マリンタウンMICE事業を通じ、以下の効果が期待できる。

## 定量的効果(大型MICE施設)

| 項目     | 効果(12年目以降) ※1                      |
|--------|------------------------------------|
| 催事件数   | 223 件／年間 ※2                        |
| 参加人数   | 98万人／年間 ※2                         |
| 経済波及効果 | 551億円／年間(直接効果:352億円 間接効果:199億円) ※3 |

※1 他県の類似施設を参考に、需要見込み値に達する年を運営開始12年目として算出

※2 催事件数、参加人数は、令和3年度実施の需要調査に基づく

※3 観光庁モデルの消費原単位と参加者などにより消費総額を推計し、沖縄県の産業連関表に基づき経済効果を算出している。

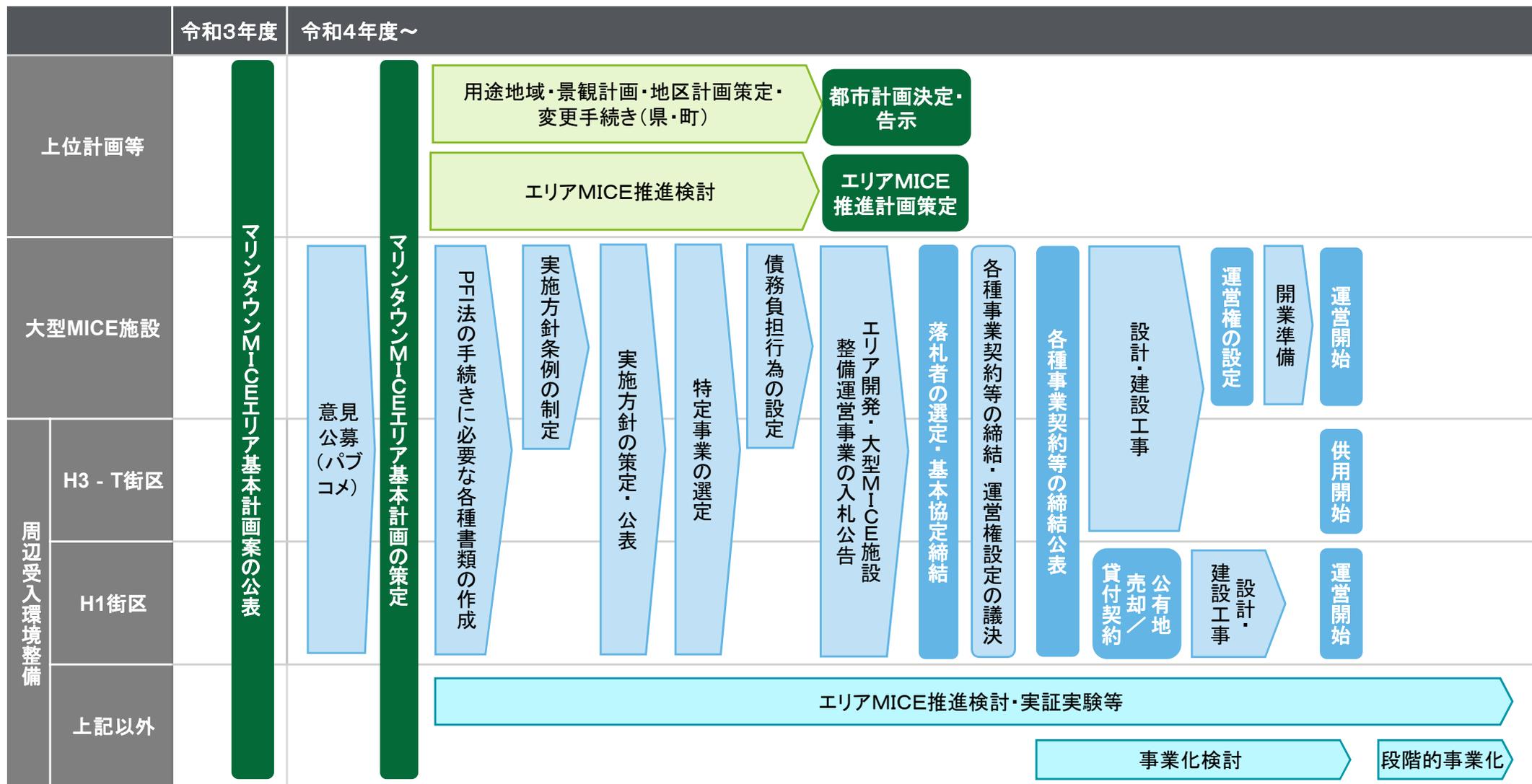
## 定性的効果

| 項目        | 効果  |
|-----------|---|
| 都市ブランド    | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 県内拠点ともなる大型MICE施設整備により、ビジネスツーリズム拠点として認知度が向上する</li> <li>➤ 海外関係機関とのネットワークの構築</li> </ul>   |
| 周辺エリアへの展開 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ マリンタウンMICEエリアを核とした東海岸地域の活性化による県土の均衡ある発展が期待される</li> <li>➤ MICE開催前後の観光を楽しむ人も多いため、周辺エリアへの観光需要の拡散が期待される</li> </ul>   |
| 産業振興      | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大型MICE施設が整備されることで、ビジネスツーリズムから派生する観光産業等の振興が期待される</li> <li>➤ 来街者向けの施設整備や産業創出が促される</li> <li>➤ MICEをとおした研究機関と企業との連携による新たな商品開発等による関連産業の振興が図られる</li> <li>➤ MICEに係る多様な人材の育成・確保や新たな雇用機会の創出が促される</li> </ul> |
| 裾野経済      | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大型MICE施設の整備においては、大型の都市開発事業により、建設業の期待が向上する</li> <li>➤ MICEに伴う、飲食需要、宿泊需要、その他観光需要が期待され、県内の他産業に対して波及することが期待される</li> </ul>  |
| 地域住民      | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大型MICE施設の整備と連動し、周辺の都市環境形成も図られるため、地域住民の利便性も向上される</li> <li>➤ 特に観光流入を図るため、道路整備等により交通環境が充実され、地域住民の交通利便性も向上する</li> <li>➤ 海外からの参加者と地域住民等との交流促進</li> <li>➤ 高度な研究発表を通じた地域への教育的効果が期待される</li> </ul>          |

## V. PFI法に基づく手続き等



# マリンタウンMICEエリア整備におけるPFI法に基づく手続き等を以下の予定している。



## VI. 付録



# **1. 前回基本計画(平成28年8月1日公表版) からの主な変更点**

今回基本計画では、前回基本計画から市況の変化を踏まえ、面的な検討を視野に入れた整備スキームや運営方法の更新を行う。

前回計画からの主な変更点

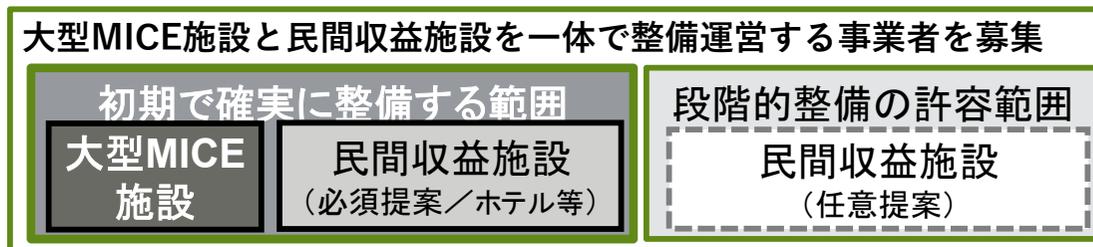
1. 大型MICE施設とMICE開催に必要な機能(ホテル等)の民間収益施設を一体的に整備

【前回計画】



大型MICE施設の整備運営を決める段階における周辺受入環境の確実性に課題

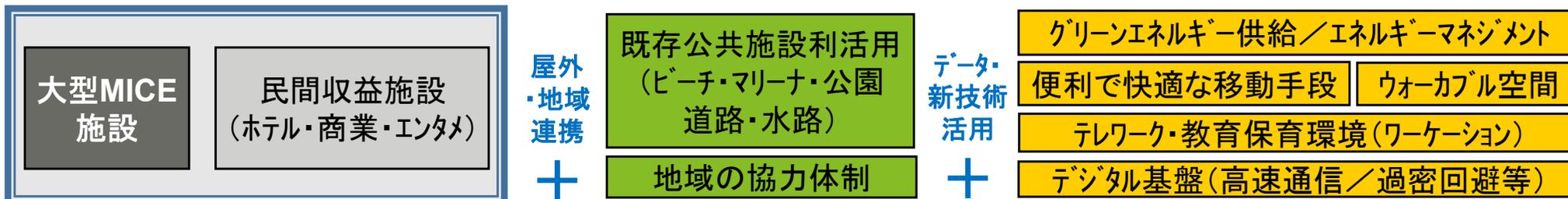
【新たな計画】



大型MICE施設の整備運営を決める段階における周辺受入環境の確実性を担保

2. SDG'sを踏まえ、ニューノーマルに即した地域運営

【新たな計画における方向性】



今回基本計画では、前回基本計画から市況の変化を踏まえ、面的な検討を視野に入れた整備スキームや運営方法の更新を行う。

前回計画からの主な変更点(つづき)

3. 大型MICE施設の段階的拡張整備の手法と土地活用

【前回計画】



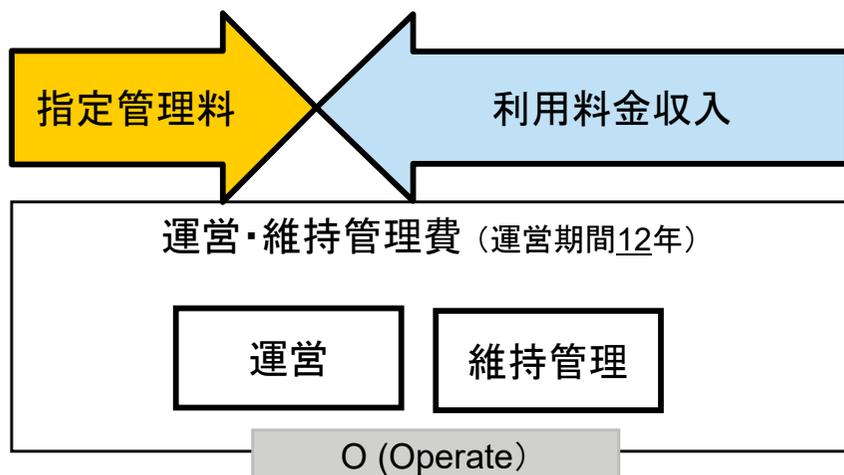
【新たな計画】



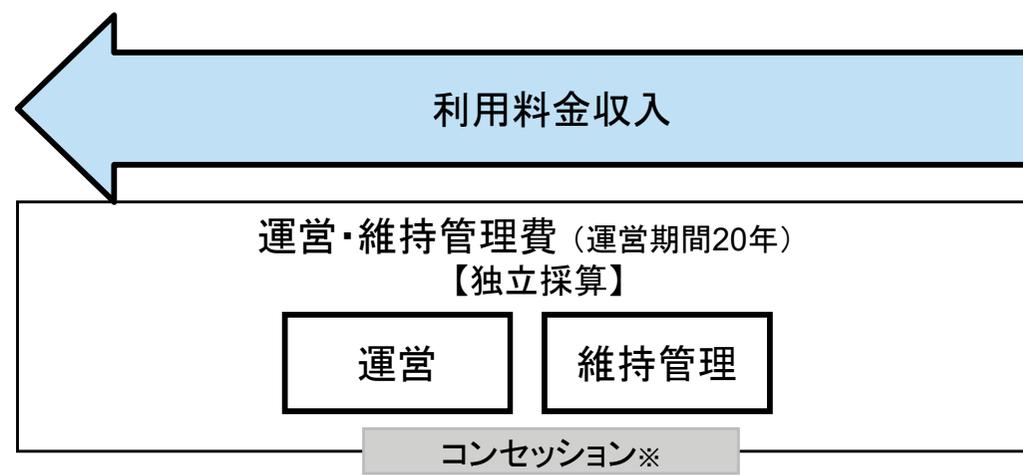
※展示場の面積については、最も事業性があり、民間事業者の安定的な運営を確保する必要があることから当該面積を採用した。また、将来需要が増加した場合に対応するため、拡張余地を確保し施設の増築に対応することとした。

4. 大型MICE施設の運営スキーム

【前回計画】



【新たな計画】



※運営スキームについては、運営事業者の柔軟な運営が可能となり、民間ノウハウを発揮しやすいコンセッション方式を採用することとした。

## 2. 計画関連参考資料

## これまでの沖縄県におけるMICE振興の取り組みは以下のとおり。

- ・ 沖縄県は、沖縄観光コンベンションビューローや観光関連事業者等と連携し、沖縄のリゾート資源を生かしてMICE誘致に取り組んできた。
- ・ 特に、2000年の九州・沖縄サミットの開催を契機に、政府全体で各種会議の沖縄開催を後押ししたことで「太平洋・島サミット」や「地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議」など、沖縄の地理的・自然的な特性を生かした国際的なコンベンションが開催されてきた。
- ・ 他方、学術・研究分野では、国際的に卓越した科学技術に関する教育及び研究を推進する機関として、沖縄科学技術大学院大学(OIST)が2010年に設立され、サンゴのゲノム研究をはじめ様々な分野で世界最先端の研究が行われ、その成果を発表する国際学会等の学術イベントも年々増加傾向にある。
- ・ こうした国・県・民間・大学等による取り組みにより、沖縄の地域特性を生かした国際会議や魅力ある観光リゾート資源を活用したインセンティブ旅行は着実に増加し、沖縄県はリゾート型のMICE都市として一定の評価を得ている。

## MICE開催地として沖縄が選ばれる理由



### 1 寛容なヒトと土地

かつて沖縄は琉球王国として、日本そしてアジア各国に至る広範囲で中継貿易を展開し、海邦交流拠点として多様な価値観を寛容してきました。そのような歴史から、あらゆる垣根を越え、訪れる全てのヒトを受け入れるオープンマインド、「万国津梁の精神」が受け継がれています。



### 2 自然豊かなリゾート

日本にありながら独自の歴史、文化、自然環境を持つ沖縄ならではの癒しの空間が会議やコミュニケーションを活性化させ、ひらめきや創造性、沖縄での特別な体験を提供します。



### 3 アジアと繋がるビジネス交流拠点

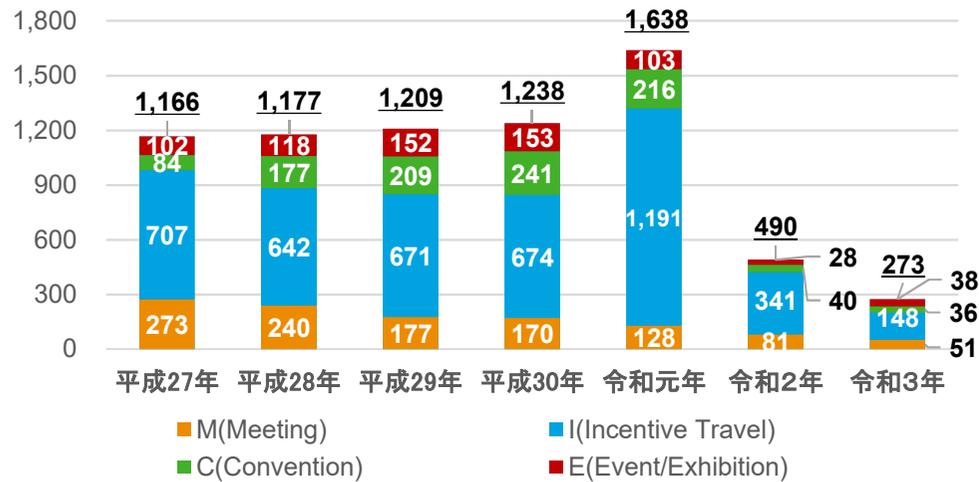
日本最南端の沖縄は、直行便で4時間圏内に、日本やアジアを含む約20億人の市場へアクセス可能なMICE開催地です。近年では先端医療・健康・バイオ、再生可能エネルギーなど、亜熱帯・海洋島嶼型の先進課題研究が集積し、参加者のビジネス・研究を加速させる環境を有しています。

- ・ 沖縄は、豊かな自然環境、歴史的風土と伝統に根ざした個性豊かな文化により人々を惹きつける魅力、「ソフトパワー」を有している。

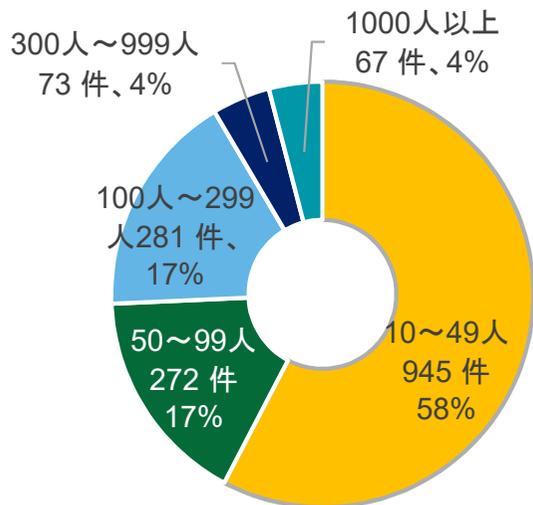
# 沖縄県内では、離島を含め、MICE専用施設のほか、ホテルや文化施設等(ユニークベニュー)の多様な場所でMICEが開催されている。沖縄県内のMICE開催状況と、主なMICE施設は以下のとおり。

## 県内でのMICE開催状況

■ 県内MICE開催件数の推移(平成27年～令和3年)



■ 規模別開催件数(令和元年度)



- 100名未満が全体の約75%
- 現在の施設規模の制約から、1,000名以上の催事は4%にとどまっている。

※ R2、3年度は、コロナの影響が顕著であったため、R元年度データを引用

## 沖縄県内での主なMICE施設



沖縄市多目的アリーナ(沖縄市)



沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)



大型MICE施設建設地(中城湾港マリンタウン地区)

■ 他のMICE施設との比較

| 施設名称          | 面積 (㎡)   | 最大収容人数          | 催事                   |
|---------------|--|-----------------|----------------------|
| 大型MICE施設      | 展示場 10,000 ㎡<br>会議室 3,400 ㎡<br>多目的ホール 7,500 ㎡    | 10,000人<br>(想定) | 企業系会議、国際会議、展示会、イベント等 |
| 沖縄コンベンションセンター | 展示場 2,500 ㎡<br>会議棟 1,400 ㎡                       | 4,000人          | 企業系会議、国際会議、展示会、イベント等 |
| 沖縄アリーナ        | フロア部 2,600 ㎡                                     | 10,000人         | スポーツイベント、コンサート等      |
| 出島メッセ(長崎県)    | 展示場 3,800 ㎡<br>会議室 2,900 ㎡<br>コンベンションホール 2,700 ㎡ | 4,650人          | 企業系会議、国際会議、展示会、イベント等 |

注) 最大収容人数は、各展示場のシアター形式による収容人数(コンベンションセンターは、固定客席数を加えたもの)を記載。沖縄アリーナについては、コンサートイベント時の収容人数を記載。

# 沖縄県がMICEの振興に取り組む意義は以下のとおり。

## 沖縄でMICEを開催する意義、効果

### 観光分野を中心とした高い経済効果

- MICEを通じた新たなビジネス客の獲得  
→観光の平準化、観光サービスの質の向上
- 数年前に開催地が決定し、キャンセルリスクが少ない  
→MICEは将来の収益の担保、経営を安定化

### 産業の競争力強化

- MICE参加者の交流によるビジネス獲得やイノベーションの創出による産業の高度化
- 国際的な商談会などのMICE開催を通じてビジネス交流拠点としてのブランド向上

## 地域・住民へもたらされる効果

- 大型MICEを核とした東海岸エリアの活性化による県土の均衡ある発展
- 海外参加者との交流を通じて、異文化理解が促進され地域のグローバル化が進展
- 地域住民のホスピタリティや開催地の魅力が国内外からの参加者を通じて世界に発信
- 最先端の商品・技術に触れる機会の創出や市民向けイベント開催による教育機会の確保
- 国際的なMICE開催地としての地域の誇りの醸成、地域ブランドの形成促進
- MICEに係る多様な人材の育成・確保や新たな雇用機会の創出

## 沖縄21世紀ビジョンの実現に貢献

- MICE参加者相互の交流の架け橋となり、21世紀における「万国津梁」として世界の発展に貢献
- MICEによる県内産業の成長が促進され、強しなやかな自立型経済の構築に寄与

# 沖縄県では、リーディング産業である観光産業とIT産業を産業基盤とすべく、取り組みを強化している。

## 観光振興における取組み

「世界から選ばれる持続可能な観光地」を沖縄観光の目指す将来像として位置付け、『県民、観光客、観光事業者が自然、歴史、文化を尊重し、観光産業の成長と維持を目指すことで、それぞれの満足度を高めるとともに経済を最適に活性化させることを目的に施策を展開。

基本的な施策としては、

- ①安全・安心・快適でSDGsに適応した観光地マネジメント
- ②DXを活用した多彩かつ質の高い観光の推進
- ③沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
- ④基盤となる旅行環境の整備
- ⑤脱炭素・グリーンリカバリーへの積極的な対応
- ⑥人材育成と人材確保の推進

このような中、MICEにおいては、マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興を推進することとしており、**県内産業界が積極的にMICEを活用し産業成長を図るための施策やMICE産業の裾野を広げ新産業の創出を図るための産業政策を推進。**

## IT産業における取組み

沖縄県ではアジアマーケットとも近い立地環境を生かし、IT産業を新たな基幹産業として位置づけるため、県の支援と活動を充実させる取り組みを進めてきた。

現在、観光に並ぶリーディング産業となっており、県内他産業とのイノベーションを加速させることで、全産業に波及させることを目指している。

### 【主な施策】

#### **ResorTech : Resort × Technology**

ITと観光産業のみならず、沖縄の産業全体の発展と、地域に暮らす人々の生活を豊かにするテクノロジーの集積と新ビジネスの創出を目指す。

#### **ISCO : 一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター**

ビジネスマッチングや実証実験の場の提供などIT産業育成のためのビジネスプラットフォームを提供。

#### **国際情報通信ハブ**

官民連携したクラウド環境の整備とともに、沖縄本土間の通信コストの低減化支援。クラウドやビッグデータなどの活用技術に対応した付加価値の高いサービスや、アジアとの双方向ビジネスを創出する環境を提供。

#### **IT津梁パーク**

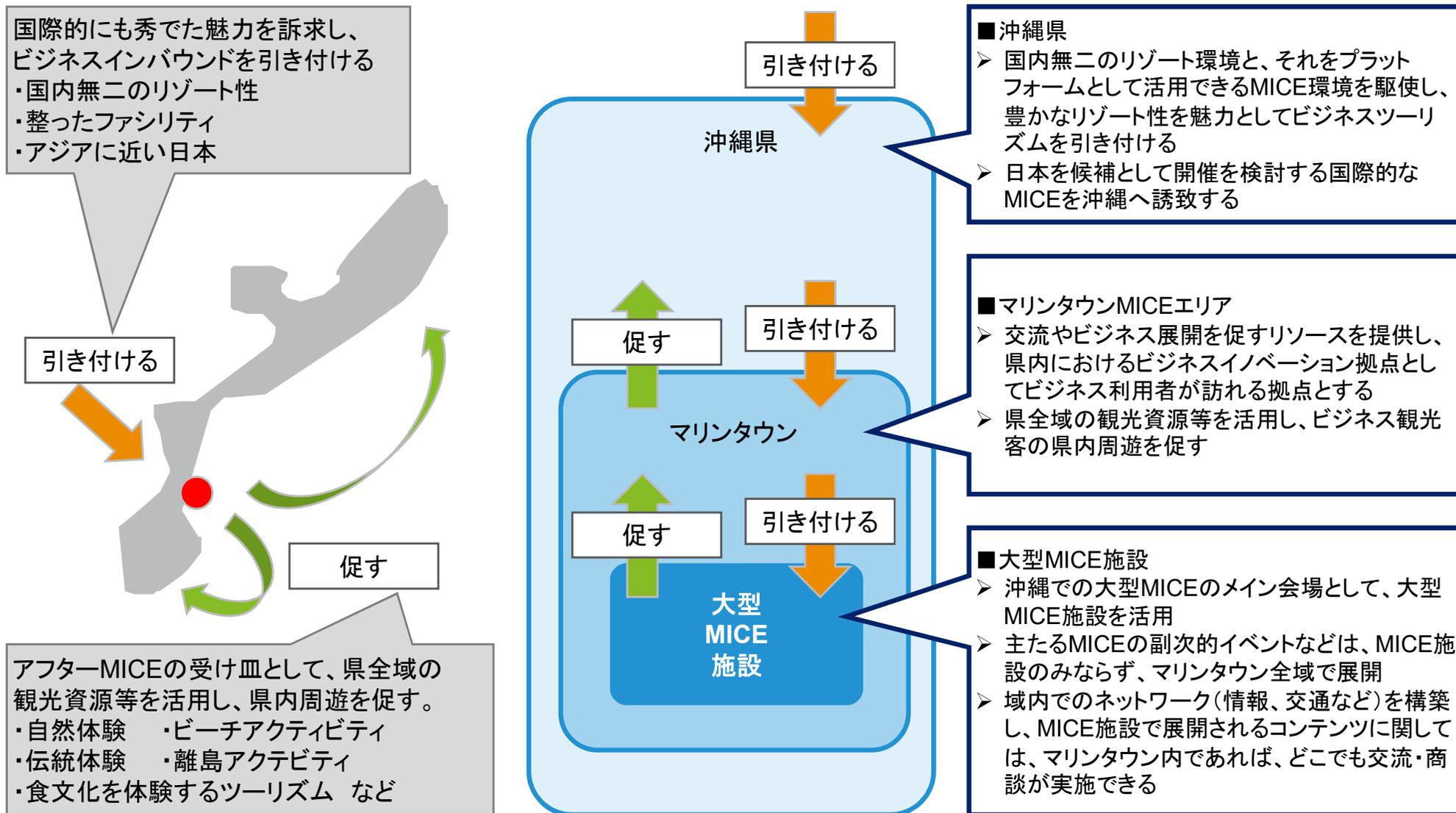
情報通信産業の企業誘致のための中心拠点。



2020年10月には、「ツーリズム EXPOジャパン」と「リゾテック・オキナワ沖縄国際IT見本市」を同時開催し、沖縄の観光産業と情報産業を一体的にプロモーションする展示会が開催された。

# マリンタウンMICEエリアは、ビジネス交流の発信源としてビジネス観光客を引き付けた上で、県内リゾートの魅力を活用した県内周遊を促し、経済振興に繋げる。

## 沖縄県全体とマリンタウンの関係性



# マリンタウンエリア形成の為に、他地域との差別化を図るため、エリアマネジメントの方針として以下を想定する。

## マリンタウンMICEエリア エリアマネジメント方針

ビジネス目的の来訪を促し、MICE、生活、リゾートが共存するオリジナリティあふれるまちづくりを進め、新たな出会いや未来へつながる交流・共創を生み出し、地域経済好循環を実現するため、以下の取組をマリンタウンMICEエリア全体で推進する。

### エリア全体でMICEを受け入れる環境整備

- 多様化するMICEニーズに対応する為、大型MICE施設のみならず、周辺施設や屋外を活用し、マリンタウンエリア全体でのMICE受け入れが出来る体制を整える事で、他地域と比して優位性のある環境を整備する。
- 特にビーチやマリーナなど、沖縄らしいリゾート環境を生かしたMICEの開催などを可能とすることで、MICE主催者から開催選択される地域としての地位を確保する。

### デジタル技術を活用したエリアの価値高度化

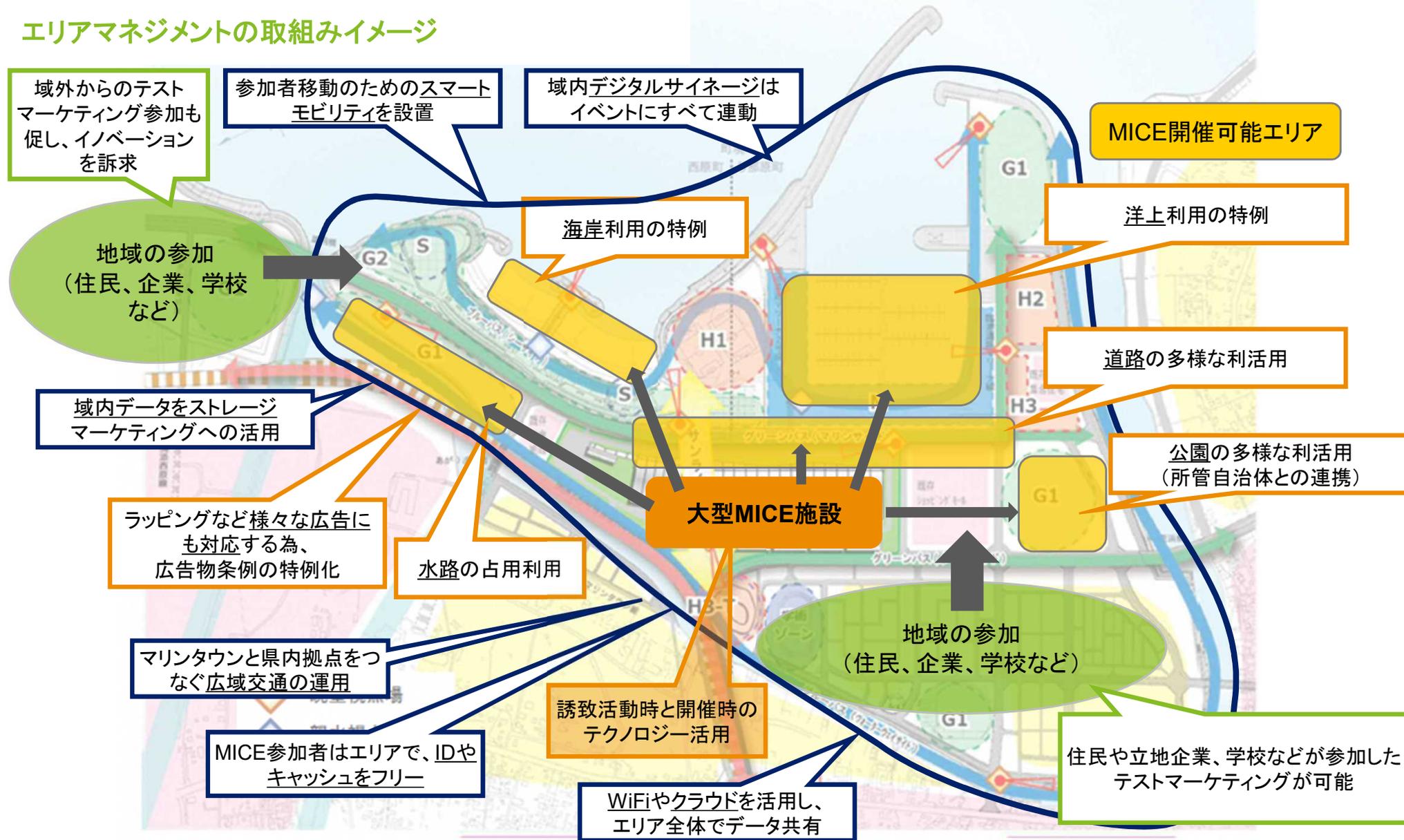
- エリアでのMICE受け入れの促進を図ることを目的とし、マリンタウンMICEエリア全体の利便性を向上させる為、デジタル技術を活用した地域形成を行う。
- スマートシティとして多様な技術が実装された地域形成を行うことで、ビジネスツアー目的地としての特徴を付加する。
- スマートシティとしての認知を高めることで、デジタル技術とMICEが連動した都市としてブランド価値向上を図る。

### オープンイノベーションを促す仕組みの構築

- マリンタウンMICEエリアでは既に、住宅や商業施設・教育施設等が立地し、生活環境が形成されているため、MICE環境と生活環境が共存する稀有な立地となっている。
- この特徴を生かし、MICEエリアとしてのビジネスの初期的なマッチングのみならず、地域住民等が参画できる特徴を生かし、モニタリングや実証・実装等を行う事で、ビジネス形成に対し一貫通貫したサポートが出来る地域形成を図る。

# 地元市町村とも連携し、MICE、生活、リゾートが共存するオリジナリティ溢れるまちづくりを進め、多くの人を訪れ、新たな出会いや未来へつながる交流・共創を生み出す。

## エリアマネジメントの取組みイメージ



# 概算整備費算出における、大型MICE施設棟の想定仕様は以下のとおり。

## 施設仕様(案):大型MICE施設棟

| 室構成  | 室名                  | 展示場                                    | 展示場<br>バックスペース | エントランス<br>ロビー<br>ホワイエ | 多目的ホール                                | 多目的ホール<br>バックスペース | 会議室              | 会議室<br>バックスペース | 運営事務室<br>パントリー<br>機械室等 |
|------|---------------------|--|----------------|-----------------------|---------------------------------------|-------------------|------------------|----------------|------------------------|
|      | 面積(m <sup>2</sup> ) | 10,000                                 | 2,700          | 10,200                | 7,500                                 | 500               | 3,400            | 400            | 4,000                  |
| 構造   |                     | 約140m×75m<br>無柱<br><br>天井有効高<br>梁下 15m | —              |                       | 約95m×80m<br>無柱<br><br>天井有効高<br>梁下 10m | —                 | —                | —              | —                      |
| 外部仕上 | 屋根                  | ステンレスダブル折板                             |                |                       |                                       |                   |                  |                |                        |
|      | 外壁                  | ECP(押出成型セメント板)素地仕上+浸透性吸水防止剤、カーテンウォール   |                |                       |                                       |                   |                  |                |                        |
| 内部仕上 | 天井                  | 素地+GW                                  |                | 岩綿吸音板                 | 岩綿吸音板                                 | 石膏ボード<br>+塗装      | 岩綿吸音板            | 石膏ボード<br>+塗装   | 石膏ボード<br>+塗装           |
|      | 壁                   | 石膏ボード+塗装                               |                | 塗装                    | クロス                                   | 石膏ボード<br>+塗装      | クロス              | 石膏ボード<br>+塗装   | 石膏ボード<br>+塗装           |
|      | 床                   | コンクリート                                 |                | 磁器質タイル                | タイル<br>カーペット                          | 塗床                | タイル<br>カーペット     | ビニルシート         | ビニルシート、<br>塗床等         |
| 設備   |                     | ・可動間仕切壁<br>・床ピット                       | —              | —                     | ・音響装置<br>・可動間仕切壁                      | —                 | ・音響装置<br>・可動間仕切壁 | —              | —                      |

# 概算整備費算出における、その他施設の想定仕様は以下のとおり。

## 施設仕様(案): 駐車場棟及び付帯施設

|          |    | 駐車場棟              |
|----------|----|-------------------|
| 方針       |    | ・2,000台の駐車スペースを確保 |
| 延床面積     |    | 約50,000㎡          |
| 室寸法      |    | —                 |
| 天井高      |    | 2,400mm           |
| 外部<br>仕上 | 屋根 | RC塗膜防水            |
|          | 外壁 | ガルバリウム鋼板          |
| 内部<br>仕上 | 天井 | 素地                |
|          | 壁  | 素地                |
|          | 床  | RC塗膜防水            |

|          |    | ペDESTリアンデッキ                                     | H3-T交通ターミナル                                |
|----------|----|---|--|
| 方針       |    | ・H3-TゾーンからH1ゾーンに連絡する24時間365日利用可能なペDESTリアンデッキを整備 | ・大型MICE施設開業時に利用可能なバスターミナル(平場の駐留スペースを想定)を整備 |
| 面積・規模    |    | 通路部分面積約2,500㎡                                   | 敷地面積11,400㎡                                |
| シェルター    |    | アルミハニカムパネル(延長約245m×幅約8m ※建物部分を除く)               | アルミハニカムパネル 延長約130m×幅約3m                    |
| 外部<br>仕上 | 床  | 磁器質タイル等   | アスファルト舗装等                                  |
|          | 外壁 | コンクリート打放2-FUE                                   | —  |
| その他      | —  | 植栽  | 植栽   |
|          | —  | —   | —  |
|          | —  | —   | —  |

# 概算整備費算出における、MICE施設及び付属施設の設備仕様想定は以下のとおり。

## 電気設備・給排水衛生設備・空調設備 仕様(案)

|         | 大型MICE施設棟  |  |   |   | 駐車場棟   | ペDESTリアンデッキ   | H3-T交通ターミナル   |
|---------|--|--|---|---|--|---|---|
|         | 展示場  | 多目的ホール   | 会議室   | 共用部,その他   |  |   |   |
| 方針      | <ul style="list-style-type: none"> <li>1万㎡の展示空間を有する展示場を整備する</li> <li>3分割により小規模展示会にも対応する</li> <li>中規模コンサートは約10,000㎡分(3分割分)にて対応可能</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>7,500㎡のホール空間を整備する</li> <li>4分割により小規模利用にも対応する</li> <li>国際会議やレセプションパーティーなどにも対応可能</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>20から30室程度確保する</li> <li>複数の会議室を一体的に使用できる会議室を確保する</li> <li>展示場に併設する場合は商談スペースや控室として使用することを想定</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>エントランス、その他バックスペースを確保</li> <li>パントリー及び厨房設備</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>2,000台の駐車スペースを確保</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>24時間365日利用可能なペDESTリアンデッキを整備</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>大型MICE施設開業時に利用可能なバスターミナル(平場の駐留スペースを想定)を整備</li> </ul> |
| 電気設備    | 展示場内設備(各区分) <ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備</li> <li>通信回線</li> <li>Wi-Fi回線</li> </ul>  | 多目的ホール(各区分) <ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備</li> <li>通信回線</li> <li>Wi-Fi回線</li> <li>音響設備</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備</li> <li>Wi-Fi回線</li> <li>音響設備</li> </ul>   | 全体 <ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備</li> <li>高圧受変電設備</li> <li>予備電源:ディーゼル発電機</li> <li>蓄電池</li> <li>照明設備</li> <li>Wi-Fi回線</li> </ul> | 照明設備   | 照明設備  | 照明設備  |
| 給排水衛生設備 | 展示場内設備(各区分) <ul style="list-style-type: none"> <li>給水量 バルブ止め</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>給水量 バルブ止め</li> </ul>  | —   | 上水:受水槽+加圧給水ポンプユニット<br>雑用水:受水槽+加圧給水ポンプユニット<br>給湯:局所給湯方式(電気)<br>排水:屋内汚水・雑排水分流方式<br>屋外排水、雨水分流方式  | 本体棟に接続   | —   | —   |
| 空調和設備   | 空調:単一ダクト空調機<br>VAVによる変風量制御<br>※間仕切り対応<br>換気:第一種換気  | 空調:単一ダクト空調機<br>VAVによる変風量制御<br>※間仕切り対応<br>換気:第一種換気  | 空調:個別空調方式<br>換気:第一種、第三種換気、個別換気  | 空調:単一ダクト空調機、一部FCU併用電気式パッケージエアコン<br>換気:第一種、第三種換気、個別換気  | 換気設備<br>屋内消火栓設備  | —   | —   |
| 備考      | 2階調光設備等副操作盤室   | 常設プロジェクター設備<br>同時通訳ブース(会議室併用)  | 必要に応じ常設プロジェクタ設備   |   |  | 昇降設備  | サイン   |

### 3. 関連計画

## 本事業において関連する計画は以下のとおり。

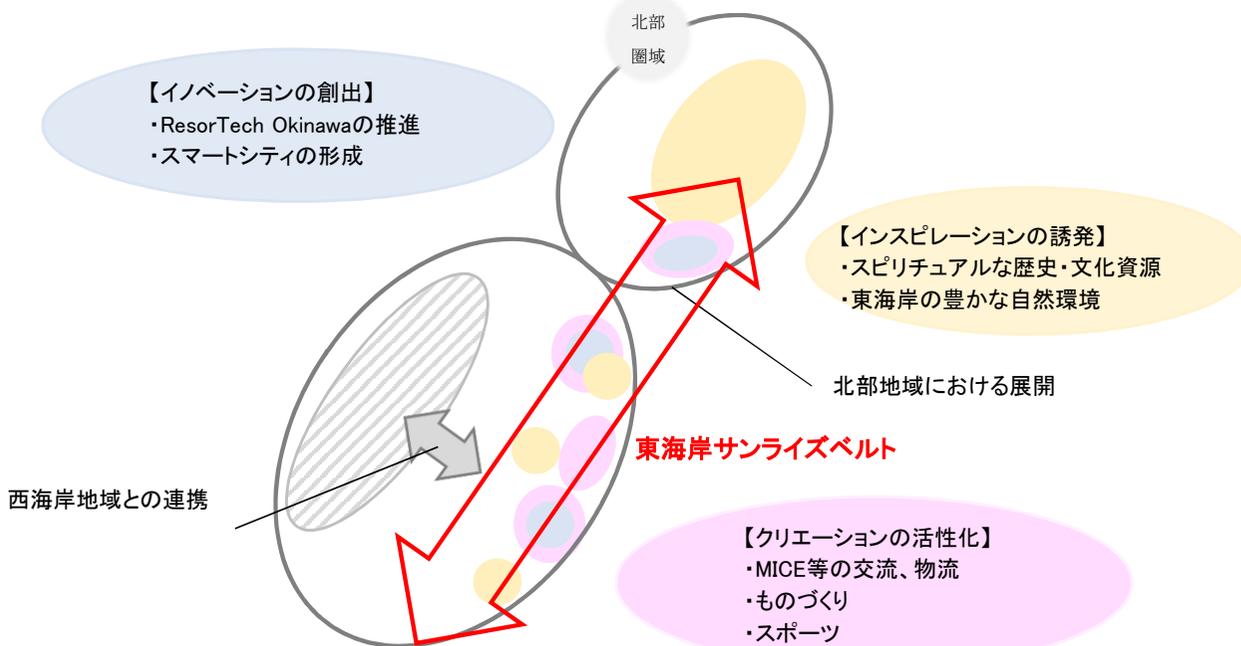
| 国の施策                                       | 主な実施内容   |
|--|--|
| 明日の日本を変える観光ビジョン<br>(平成28年3月30日)            | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ MICEの誘致促進に向け、政府レベルで支援する体制を構築</li> <li>➢ 将来的に、官民連携の横断組織を構築し、オールジャパンで体制での支援を実施</li> </ul>   |
| 国際会議等各種会議の沖縄開催の推進について<br>(平成12年6月20日 閣議了解) | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議」の設置</li> </ul>   |
| 沖縄県の施策                                     | 主な実施内容   |
| 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画<br>(令和4年5月)               | <p>『マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ MICE振興とビジネスツーリズムの推進</li> <li>➢ マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備</li> <li>➢ MICEを活用した関連産業の振興</li> </ul> |
| 沖縄MICE振興戦略<br>(平成29年)                      | <p>『大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大型MICE施設の整備と周辺まちづくりによる賑わいの創出</li> </ul>   |
| 第6次沖縄観光振興基本計画<br>(令和4年7月)                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 沖縄観光にMICE振興による「ビジネスツーリズム」という新機軸を位置づける</li> <li>➢ 大型MICE施設の整備を含むマリンタウンMICEエリア形成の推進</li> </ul>  |
| 東海岸サンライズベルト構想<br>(令和3年3月策定)                | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大型MICE 施設等を核とした東海岸地域の活性化</li> <li>➢ アフターMICE を促進する大型MICE施設と地域拠点を結ぶ円滑な交通システムの構築</li> </ul>   |
| 中城湾港長期構想<br>(令和3年4月策定)                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大型MICE施設と関連した新たな賑わいを目指したまちづくり</li> <li>➢ 大型MICE施設及び関連施設と一体的となった観光エリアとして機能するマリーナの計画・整備</li> </ul>  |
| 町の施策                                       | 主な計画内容   |
| 与那原町都市計画マスタープラン                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大型MICE施設地区の指定と文化交流施設等の誘導、ショッピングモールやホテルの誘致</li> </ul>  |
| 西原町都市計画マスタープラン                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 交通結節点の活用と、バス網等を活用した交通ネットワークの充実</li> </ul>   |

# (参考)「沖縄県東海岸サンライズベルト構想(令和3年3月)」の全体コンセプトと基本的な考え方

## 東海岸サンライズベルトの全体コンセプト

### 「インスピレーションの誘発、クリエイションの活性化、イノベーションの創出」

- ・世界遺産となっているスピリチュアルな歴史文化資源と沖縄特有のゆったりした自然環境により、ひらめきや新たな刺激を誘発するインスピレーションな地域
- ・世界との架け橋となるMICE等の交流や物流、スポーツ、ものづくりにより、人やモノの活動が活性化するクリエイションな地域
- ・ResorTech Okinawaの推進やスマートシティの形成などにより、新たな価値を創出するイノベーションな地域



【基本的な考え方】 県土の均衡ある持続可能な発展  
～東海岸地域の魅力・強みを生かし、西海岸地域と有機的につながる～

【目指す姿】 新時代に対応し、新たな価値を創造する  
「住む、働く、遊ぶ」を満たす快適空間(エリア)の先導地域

#### 【全体コンセプト】

##### 【東海岸地域のキーワード】

『サンライズ』を望む地域

- 「始動・目覚め (再起動・リポート)」
- 「健康・活力」
- 「交流・創造」

○世界遺産となっているスピリチュアルな歴史文化資源と沖縄特有のゆったりした自然環境により、ひらめきや新たな刺激を誘発する  
**インスピレーションな地域**

○世界との架け橋となるMICE等の交流や物流、スポーツ、ものづくりなどによる人やモノの活動が活性化する  
**クリエイションな地域**

○ResorTech Okinawaの推進やスマートシティの形成などにより、新たな価値を創出する  
**イノベーションな地域**

#### 【構想実現のための展開】

- (1) 良好な居住環境とともに、歴史・自然資源と産業・観光振興が調和する土地利用の展開
    - ・良好な居住環境の整備
    - ・都市基盤の整備、経済基盤の強化
    - ・広域的かつ計画的な土地利用の展開
  - (2) 東海岸地域の魅力を生かした観光の展開
    - ・中城公園など観光エリア拠点の形成
    - ・世界遺産など地域の魅力を生かした持続可能な観光
    - ・ソフトパワーを生かした沖縄にしかないワーケーション展開
  - (3) スポーツコンベンション地域の形成
    - ・スポーツコンベンション拠点の形成
    - ・スポーツツーリズムの推進
  - (4) マリナタウンMICEエリアを核とした東海岸地域の活性化
    - ・マリナタウンMICEエリアの形成
    - ・東海岸地域の資源を生かした体験プログラム等の展開
  - (5) ITイノベーション拠点の形成
    - ・ResorTech Okinawaの推進(デジタルトランスフォーメーション等の促進)
    - ・新技術の実証の先行地域としての活用
    - ・ワーケーションを展開するIT拠点の形成
  - (6) 港湾や空港とつながる産業集積拠点の形成
    - ・企業誘致・県内企業の高度化の促進
    - ・中城湾港新港地区、南部東道路等を活かした拠点形成
    - ・高付加価値な企業の集積や研究開発の推進
  - (7) サンライズポートの形成(港湾の物流・人流機能の強化・拡充)
    - ・産業支援港としての港湾機能の拡充・強化
    - ・流通拠点としての安定的・効率的な物流環境の創造
    - ・多彩で高付加価値の観光・交流拠点の形成
    - ・ブランド価値を生む親水空間の提供
  - (8) 円滑な交通ネットワークの形成
    - ・中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ幹線道路の拡充
    - ・基幹道路整備による西海岸地域との連携強化
    - ・那覇港と中城湾港新港地区を結ぶ物流道路
    - ・地域拠点を結ぶ広域的な公共交通の充実・強化
- 【北部圏域における展開】
- ・やんばるの森などを生かした滞在型観光の推進や拠点形成
  - ・スポーツ・リハビリ拠点の形成
  - ・情報通信等関連企業集積地のビジネス展開
  - ・子育てしやすい住み良いまちづくり
  - ・円滑な交通ネットワークの構築